

年間学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 植物の発芽から結実までの過程，動物の発生や成長などをそれらにかかわる条件に目を向けながら調べ，見出した問題を計画的に追究する活動を通して，生命を尊重する態度を育てるとともに，生命の連続性についての見方や考え方を養う。 物の溶け方，てこ及び物の動きの変化をそれらにかかわる条件に目を向けながら調べ，見出した問題を計画的に追究したりものづくりをしたりする活動を通して，物の変化の規則性についての見方や考え方を養う。 天気の変化や流水の様子を時間や水量，自然災害などに目を向けながら調べ，見出した問題を計画的に追究する活動を通して，気象現象や流水の動きの規則性についての見方や考え方を養う。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学期	学習内容・到達目標	学期	学習内容・到達目標
前	<p>植物の発芽と成長</p> <ul style="list-style-type: none"> 種子の中の養分をもとにして発芽することをとらえることができる。 発芽には，水，空気及び温度が関係していることをとらえることができる。 成長には，日光や肥料などが関係していることをとらえることができる。 <p>動物のたんじょう(メダカかヒトか選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物には雌雄があり，生まれた卵は日がつにつれて中の様子の変化してかえることをとらえることができる。 <p>花から実へ</p> <ul style="list-style-type: none"> めしべやおしべなどがあり，花粉がめしべの先に付くと，種子ができることをとらえることができる。 <p>台風と気象情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 台風や洪水などの自然災害や，備えについて調べ，安全な行動のしかたを考えることができる。 <p>わたしたちの気象台</p> <ul style="list-style-type: none"> 天気の変化は，気象情報を用いて予想できることをとらえることができる。 	後	<p>てんびんとてこ</p> <ul style="list-style-type: none"> 水平につり合った棒の支点から等距離に物につるして棒が水平になったとき，物の重さは等しいことをとらえることができる。 力を加える位置や力の大きさを変えると，てこを傾ける働きが変わり，てこがつり合うときには一定のきまりがあることをとらえることができる。 <p>流れる水のはたらき</p> <ul style="list-style-type: none"> 流れる水には，土地を削ったり土などを流したり積もらせたりする働きがあることを，とらえることができる。 <p>もののとけ方</p> <ul style="list-style-type: none"> 水の温度や量による溶け方の違いを調べ，物の溶け方の規則性についてとらえることができる。 <p>おもりが動くとき(ふりこか衝突か選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> おもりが1往復する時間は，糸の長さによって変わることをとらえることができる。 動くおもりの重さや速さによって，ものを動かすはたらきは変わることをとらえることができる。
期		期	

理科の評価

<ul style="list-style-type: none"> 理科では四つの観点で評価します。 			
自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考	観察・実験の技能・表現	自然事象についての知識・理解
自然現象を意欲的に追求し，生命を尊重するとともに，見いだした決まりを生活に当てはめてみようとする。	自然現象の変化とその要因との関係に問題を見いだし，条件に着目して計画的に追求し，量的変化や時間的变化をとらえ，問題を解決する。	問題解決に適した方法を工夫し，装置を組み立てたり使ったりして観察，実験やものづくりを行い，その過程や結果を的確に表現する。	生命は子孫に受け継がれて連続していることや，物の状態は与える条件によって規則的に変化すること，気象現象や流水の動きには規則性があることなどを理解している。
<ul style="list-style-type: none"> 次のような方法で見ていきます。 			
発言内容 ノートのまとめ方 プリント テスト 学習態度 実験の様子 研究内容 活動の様子			

おうちの方へ

<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験などの直接経験を重視しながら，自然に対する科学的な見方や考え方を育てていきます。 家庭でも，日頃から自然に親しむ活動をされているとより関心が高まっていくと思います。
